

日時 平成30年 1 月 24日(水) 14:00-16:00

場所 昭島市公民館 3 階第 2 会議室

出席者:昭島市(大澤)、町田市(白崎)、小金井市(菅沼)、小平市(高橋)、日野市(畔上)、国分寺市(高塚)、狛江市(馬場)、福生市(渡部)、西東京市(井尻)、東大和市(新井)、事務局(遠藤)

欠席者:国立市(大井)

議題:

1. 前回議事録の確認: (案)どおり承認された。
2. 会長より都公連役員会報告: *配布資料「委員部会第 10 回会議」参照
 - (1)各部会の報告:
 - ① 研修担当より、トリターマ 31 号に、2 月 3 日の都公連研究大会の感想を載せるので、各分科会は原稿を 2 月末までに提出のこと。
 - (2)協議事項:
 - ① 研究大会について
 - ・分科会参加者総数: 220名+非加盟市の十数名(第1、第2分科会に参加)
 - ② 次年度都公連役員体制の確認。 *配布資料参照。
- 3、都公連研究大会、第4分科会について。
 - (1)参加者&グループ数: 基調講演講師の高尾先生を含め62名。 7グループに決定。
参加者のグループ別けは、会長一任とした。
 - (2)グループ討議: 当日(2月3日)配布資料『都公連協、研究大会、第4分科会「地域と公民館を結びつける地域学習」』参照
 - ① グループ毎の「記録係」「発表者」「司会」の役割分担については、総合司会の白崎氏から申し伝える。 なお、「記録係」と「発表者」との重複は部屋の可とする。
 - ② グループ討議内容が会長より提案: 基本的には「公民館の、より活性化のために」を前提に discuss してもらう。 例として、
 - ・事例発表、講師の論点整理の感想を話す。
 - ・自分の市での「地域と共同で行っている事例」を話す。
 - ・これからやってみたいことや、希望を出し合う。
 - ・持ち帰って実現する方法を話し合いの中から見つける。
 - (3)各グループの討議結果の発表内容について会長より提案: 発表時間の関係から、基本的には、例えば「こんな話が数例出ました程度」とし、各グループ3分間位の発表とする。

4、情報交換

◎公民館の部屋利用予約システムについて。

- ・国分寺市: 部屋の自動予約システムが、昨年6月から導入し、今年6月から本稼働となる。
- ・福生市: 部屋の自動予約システムは導入していない。

等、各市の自動予約システム導入・実施の有無及び自動予約システム運用の現状について情報・意見交換を行った。

◎その他、各市から配布された公民館だより、各種パンフレット、レジュメ等により、各市の公民館活動・運営について情報交換された。

次回: 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 14 時~16 時

記録係: 日野市) 畔上